

---

# 綾川靈障相談所

天井王子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

綾川靈障相談所

### 【Zコード】

Z8197Y

### 【作者名】

天井王子

### 【あらすじ】

なりたての高校一年生『水上九十九』は、ある日クラスメイトから肝試しに誘われる。なんとなく嫌な予感がしつつも、クラスの親睦を深めるためと言われ行くことにしたのだが…

ところ変わつてとあるファミレスの2階に居を構える綾川靈障相談所。ここは所長『綾川剣』社員『田山誠』によつて科学では説明できない何かを解決する場所。

しかし、そんな怪しいところに相談など来るはずも無く、専ら下で経営しているファミレスで生計を立てていた。

そんなところに数ヶ月ぶりの依頼者が訪れるが…

## 人物紹介

・水上九十九

身長：155cm

体重：？？？

年齢：15歳

趣味：薙刀、編み物

特技：目測

こんなタイトルだけどこっちがメイン主人公。高校1年生。幼い頃から今は亡き祖母から薙刀を習っていたので、腕前はなかなか。少し長めの黒髪が自慢。逆にスレンダーなところが悩み。

明朗快活で万人受けするが、ちょっと抜けているというかとろい。

・綾川剣

身長：176cm

体重：60kg

年齢：22歳

趣味：読書、ライター集め

特技：計算

タイトルに入つてゐるのにサブ主人公。綾川靈障相談所所長。しかし、客がこないため専ら下の階のファミレス経営で、収入を得てゐる。ヘビースモーカーだがルールは守る。毒舌家で饒舌だが接客業。整った顔立ちだが目つきが怖い。

よつて、いつも不機嫌に見えるが、どっちかといふとテンション高めで、とつつきづらいがノリはいい。

・田山誠

身長：196cm

たやまこと

体重：90kg

年齢：24歳

趣味：筋トレ、写経

特技：暗記

綾川靈障相談所社員。でも、最近はファミレスでコツクしかしていない筋骨隆々とした体格にスキンヘッド。

一步間違えば即通報されるが、本人から陽気な雰囲気がにじみ出ているため周りからは慕われている。  
筋肉バ力に見えるが有名大学卒業。

・藤橋舞花

身長：142cm（自称）

体重：？？？

年齢：15歳

趣味：料理

特技：家事全般

九十九の友人。とても高1には見えないほど小さい小さすぎて制服のサイズが無かつた。

同じ高校に兄があり兄弟仲は規制がかかりそつなほど良好

・直島藍

身長：162cm

体重：54kg

年齢：16歳

趣味：（無駄に遠回りな）考察

特技：単純作業

九十九の友人。高1。パツと見た感じ女に見えるが、男。

背が平均より少し低いのが悩み。本人的には女に見られるのを嫌っているが、役得がある場合は別。

自称腹黒いが、思ったことがすぐに口に出る

## 「人物紹介」（後書き）

初投稿です。

某所でSS書いてたりはするんですが、こういったのはのりのものは初めてなんですが、よろしければお付き合いください  
とりあえずは登場人物です  
順次追加します

## 「プロローグ」

男は走っていた。

いや、正確に言つと逃げていた。

ただただ当ても無く逃げ惑つていた。

わからない

『あれ』がなんのかわからない。

廃墟の病院での肝試し。

男が、男達がそこに居た理由。

それだけなら何の変哲も無いただのお遊び  
しかし、遊びではなくなった。

最初に気づいたのは一緒に来ていた女だった

『人が居た』

その場に居た人間は冗談だと思った

しかし、人は居たのだ

いや、人ではない

あれは人の形をした別のもの

なぜなら人は人を食わない

あんなふうに腕を食いちぎらない

あんなふうに足を噛み切らない

あんなふうに頭を噛み碎かない

あんなふうに内臓をすすぐない

最初に気づいたのが女なら、最初の獲物もその女

食い散らかされた女をみて、男達は走った

しかし、1人、また1人と居なくなつていく

「ああ……」

出口だ

「ははっ……」

思わず笑いがこぼれる

生き残つた。他の連中は知らないが、俺は生き残つた

扉を開ける。

そこに広がっていたのは見渡す限りの死体

いや、死体かどうかはわからない食い散らかし

「なんで…」

そこは廃墟とは言つても住宅街の近くでつぶれた病院だつた

廃墟というには小奇麗な場所

一步外に出れば普通に道が広がつている

そんな場所

しかし、そんな場所はなかつた

見渡す限りの平地

見渡す限りの食い散らかし

そして男は見つてしまつた

彼とともに来た友人達の…

「うつ…」

思わず夕飯を戻しかける

そして、

「見つけたぜ」

その言葉を聞いたとき男は…

## 「プロローグ」（後書き）

実験的な意味もかねてプロローグです  
基本的に2話ずつくらい書き溜めて投稿しようと思っています

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8197y/>

---

綾川靈障相談所

2011年11月27日10時54分発行